令和５年度　浅草小学校授業改善推進プラン

第３学年

1　浅草小探究モデルにおける児童の実態

Ⅰつかむ、見通す	A 課題作り	新しく学ぶ教科が増え、どの教科でも興味をもって意欲的に学習している。しかし、解決に向けてのめあてを考えるまでには至らない。
	B 学習計画を立てる	疑問をもったり、解決したい課題をもったりはするが、その解決に向けてのゴールイメージをもって、学習を進めることができる児童は少ない。
Ⅱ考える、つなげる	A 自分の考えをもつ	自分の考えや思ったこと、分かったことなどをノートに丁寧に記録できる児童は多い。それを他者に伝えるとなると、苦手意識があり、消極的になる児童がいる。
	B 他者の考えを知り関連付ける	自分の考えをもってグループで話し合うことはできる。また、自分とは違う考えに対しても肯定的な反応を示す児童が多い。しかし、たくさんの考えを分類して、整理するのはまだ難しい。
Ⅲ創る、活かす	A まとめる振り返る	学習の振り返りや感想をノートにまとめられる児童がほとんどではあるが、教師の助言が必要な児童もいる。
	B 活かす	学習を振り返り、新たな疑問をもったり、さらに調べたいと意欲をもったりする姿が見られる。新たな課題の解決に生かすまでには至らない。

2　目指す児童の姿

①学びに取り組む姿	②対話の姿	③探究する姿
自ら課題をもち、ねばり強く学習に取り組む。	自分と友達の考えを比べながら、互いのよさを認め自分の考えを深める。	自己の学びを振り返り、自己の成長や新たな課題に気付く。

3　授業改善に向けての具体的な方策

Ⅰつかむ、見通す	A 課題作り	何が問題になっているのか考える時間を多く設けたり、児童間で考えに違いが生まれる教材や予想と反する教材を提示したりして、課題を共通理解し、解決に向けてのめあてを考えられるようにする。
	B 学習計画を立てる	課題解決に向けての学習の仕方や手順を指導し、解決に向けてのゴールイメージをもって学習が進められるようにする。
Ⅱ考える、つなげる	A 自分の考えをもつ	グループで話し合う学習を意図的に増やす。その中で、司会を設けたり、話型を提示したりして、安心して自分の考えや意見を伝えることができるようにする。
	B 他者の考えを知り関連付ける	自分とは違った考えを聞いた時に、聞くだけで終わるのではなく、自分の考えと比較したり、その考えを取り入れたりしていくことで深い学びにつなげられるようにする。
Ⅲ創る、活かす	A まとめる振り返る	学習の振り返りや感想をノートにまとめられる児童が多いので、授業の中で共有したり、時に教室に掲示したりしていく。
	B 活かす	新たな疑問をもったり、さらに調べたいと意欲をもったりする姿が見られるので、その疑問を記録し、折を見て児童に問いかけるようにする。